

## 【NEWS RELEASE】

2022年3月10日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行メガソーラー発電設備「SMBC 川崎メガソーラープレイス」の新設について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下、「三井住友銀行」）は、メガバンク初のメガソーラー発電設備となる「SMBC 川崎メガソーラープレイス」を新設いたします。

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）ではサステナビリティに関する長期計画である「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」の施策の一つとして、SMBC グループ自身が排出する温室効果ガス（Greenhouse Gas/GHG）排出量に関して「2030年ネットゼロ」を公表し、削減に向けた取組を進めております。

SMBC グループにおける GHG 排出量の 80%以上が、消費電力に起因しているため、調達電力を再生可能エネルギーへ切り替えていくことが排出削減には重要です。そのため、今般、オンサイト方式（自家消費型）のメガソーラー発電設備を新設し、2022 年度中の運用開始に向け進めてまいります。

この取組では、三井住友銀行が保有する遊休スペース等に、総出力 1,037kw の太陽光発電設備を設置し、年間約 1,000MWH（一般家庭の約 160 世帯分）の電力を供給します。これにより、年間約 440t の GHG 排出削減が可能です。また、停電時等には近隣住民の皆さまにもお使いいただくことが可能な充電スポットを設置し、地域防災にも貢献してまいります。

昨年 7 月には、「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、サステナビリティの実現に向けたサービス開発や取組を進めており、今回の「SMBC 川崎メガソーラープレイス」も、こうした取組の一環として運用してまいります。

SMBC グループは、グループ全体で気候変動問題に取り組み、脱炭素社会への移行と実現のため、積極的にサステナビリティ実現に貢献してまいります。

以 上